

キャラクター名
瑞樹 遥(みずき はるか)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル		ワークス	探偵	カヴァー	警察官
	エグザイル					
オプション			年齢	25	性別	男
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率	31	%
出自	兄弟	経験	多忙	邂逅	同行者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	39
肉体	4	0	0		5	9	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	0	1	0			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1	1	調達		
運転：車	2		芸術：			知識：			情報：裏社会	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：面影島	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナックルダスター	白兵	9r-1		1		戦闘用人格：攻撃力+5
通常	白兵	21r-1		1		16dx-1@8 ①③④ コスト6
100	白兵	27r-1		6		22dx-1@7 ①③④ コスト6
通常	白兵	26r-1		1		21dx-1@8 ①③④⑥ コスト9

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
48dx+13@6 攻撃+43 コスト9 D8					

所持品	
思い出の一品	
メモリー：ヒーロー	
メモリー：面影冬日	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
Dロイス：戦闘用人格P		N		
両親	P 尊敬	N 嫌気		
妹	P 庇護	N 悔悟		
都築京香	P 執着	N 隔意		
高城	P 信頼	N 不安		
雁房	P 連帯感	N 疎外感		
紅月	P 信頼	N 不安		

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
CL：エグザイル	2	2	メジャー			シンドローム		
効果：	C値-Lv(下限7)							
生命の黄金率	5	5	マイナー	至近	自身	自動		
効果：	シーン中の『肉体』の判定+[Lv+1]							
伸縮腕	2	2	メジャー	視界		白兵		
効果：	白兵攻撃の射程を『視界』に変更する 判定-[3-Lv]D							
オールレンジ	7	2	メジャー	武器		白兵		
効果：	判定+LvD							
異形の捕食者	5	6	オート	至近	自身	自動	120↑飢餓	
効果：	自分へのHPダメージが算出された直後に使用 ダメージ-[Lv+2]D シーン中の攻撃力+[軽減したダメージ分]							
貪欲なる拳	4	3	メジャー	武器		白兵		
効果：	判定+[Lv+1]D							
異世界の因子	1	5	オート	視界		自動	80↑	
効果：	シーン内で使用されたエフェクトをそのシーンの間取得する。取得したエフェクトはLv1となる エネミーエフェクトと制限：ピュアは取得不可							
アナザーセルフ	1	4D10	オート	至近	自身	自動	120↑	
効果：	使用回数制限のあるエフェクトの制限を1つ回復する							
環境適応	★		常時	至近	自身	自動		
効果：	シン・ライフオジオ							
擬態の仮面	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果：	顔や姿を変化させる							
異能の指先	★		メジャー	至近	単体	自動		
効果：	記憶読み取り							
効果：								
効果：								
効果：								

道場を営んでいる家系
あらゆる武芸を教えているが元は自分たちの中に美食っている『異形』を押さえ込むための修行を行っていたとされている
昔に比べて血が薄まったのか制御が上手くなったのかはわからないが『異形』が早々表に出てくることも無くなったために道場の経営を始めたいらしい

その様な家に生まれたために幼い頃から修行の繰り返しだった。もちろん自分の能力を扱う修行も繰り返ししてきた。
修行は苦しかったが幸い兄が居たため道場を継ぐ必要は無く親の出した条件さえ守れば学校を卒業したら早々に家を出ることが出来た。

警察官になったのは現在まで死ぬ思いで繰り返した修行のおかげで楽に学校を卒業できると思っていたから。
そしてこの仕事こそが親の出した条件の一つだったから。
どうやら先祖から代々警察と連携して『異形』の絡んでいる事件を解決していたらしい。

現在では職務をこなしつつ、特別任務の報酬でなんだかんだと悠々適な生活を過ごしている。